

児童・生徒の実態

- ・バギーを使用し、身の回りのことのほとんどもに保育士の介助を必要とする

☆手立て

・環境

- ・ガード（園で作成）でバギーやマットを囲み本児と他児双方の安全を図る。
- ・座椅子は保護者が作成した物を使用。
- ・マットでは座椅子使用。状況に合わせて場所を変えてコーナーとして利用する。
- ・マットの上で、横臥など姿勢を変えることができる。



・給食配慮

- ・給食室で名前のついたトレーにセットしてもらったものを配膳。
- ・誤飲を防ぐため、おかず、デザートは給食室で刻んでもらう。
- ・ナイロン手袋（パンをちぎるなど保育士が使用）
自分で食べられるようスプーン・フォークも用意する。



支援を受けてみて

- ・本児の為のコーナーで安全の確保やプライベートが守られる（成長や状況によりガードの高さや場所を変更する）。マットに寝ころぶなど座位以外の体位で過ごせる。
- ・バギーにガードをしたり、座椅子を使用したりすることで、他児と同じ高さの目線になり、遊びが広がってくる。